



## RESOLUTION No. 17) IN DEFENCE OF DECENT WORK AND SECURING QUALITY PUBLIC SERVICE

### 第17号決議) ディーセントワークの擁護と質の高い公共サービスの確保

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会  
2012年11月27日-30日、南アフリカ・ダーバン

ガイアナ公務労組は、植民地時代から専門サービスに従事し、正規で年金受給資格のある役職を確保してきたが、これらの役職への人材任命は、公共サービス委員会 (PSC) が担当していることから、

ガイアナ政府は1992年に政権を取って以来、役職の欠員をいつ補充するか、また時には誰を役職に任命するかを委員会に指示することにより、公共サービス委員会の独立性を長い時間をかけて徐々に破壊してきたことから、

GPSUはこれを止めるよう政府に異議を申し立ててきたことから、

政府がこの慣行を続けていることに留意し、

これが公務員と公共サービスの信頼性に与える影響を認識する。GPSUは、こうした不法な慣行を追及する政府に対し訴訟を起こしたが、法廷ではこの案件について審問を行った結果、違憲であるとの言明がなされた。

政府がこの慣行を続けたことで、組合は政府が法廷を侮辱したと注意を喚起し、その中止を求めたことをふまえ、

ガイアナ政府は、PSCへの指示を止める一方、これらの確立された役職に対し、人材を年次契約で独断で任命する動きに出たことを認識する。これは、PSCが役職を補充する動きと同じタイミングでなされた。

政府は、組合に加入する労働者に、契約更新が危ういとほめかす動きに出たことに留意し、

こうした取り決めにより、公共サービスにおいて年金受給資格のある正規労働者の昇進機会と出世機運がそがれ、挫折感が生まれ、多くの労働者が職を離れることになることから、

さらに、政府に対してそうした行為を止めること、そして彼らの行動がもたらす以下のような不公平に対してもっと敏感に、認識するよう求める訴えを、懸念を持って注視する

- i. 彼らのキャリアの見込みを損なうことで労働者の権利の侵害につながる事
- ii. 終身雇用保障を除去することで、不安定労働者が増加する状況を創り出すこと
- iii. ガイアナの公共サービスが政治化し、その整合性と信頼が損なわれること

PSIの全加盟組合を招き、専門的な公共サービスの全面的な再確立をGPSUが追及する姿勢に支持を求める。こうした公共サービスにおいては、被雇用者は在職保証を得、政府に忠実に奉仕する義務を負い、恐れやひいきなしに公平なやり方でガイアナ市民と公共サービスの利用者全員を待遇する義務を負う。

書記長に対し、世界大会参加者の懸念をガイアナ政府に伝えるよう**指示する**。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議[Congress resolutions](#)を参照のこと